

## V2G実証事業の概要

## &lt;実証内容&gt;

- ・実証試験用のオンラインシステムの導入

2018年度に導入した実証試験用システムと、技術実証の中で整理した技術要件をもとに、実証サイトに駐車中のEV/PHEVを同時にV2G制御するオンラインシステムを構築する予定です。

- ・リソースの拡充

2018年度の実証事業から42台のEVPS<sup>※1</sup>を追加導入(表1)し、国内最大規模のV2G実証環境を構築する予定(図1)です。

表1 2019年度のV2G実証事業におけるリソース内訳

実証サイト	EV/PHEV 台数	車両用途	EVPS 台数
静岡ガス(株) 東部支社	2台(EV:1台、PHEV:1台)	通勤用:2台	2台
静岡ガス(株) 吉原基地	5台(EV:4台、PHEV:1台)	通勤用:5台	5台
三菱自動車工業 (株)岡崎製作所	50台(PHEV:+40台)	通勤用:50台	50台 (+40台)
横浜市旭土木 事務所	1台(EV:+1台)	業務用:1台	+1台
協働事業者 敷地内	1台(PHEV:+1台)	業務用:1台	+1台
合計	59台(EV:6台、PHEV:53台)	通勤用:57台 業務用:2台	59台

※「+」の台数は2019年度新規分

## &lt;検討内容&gt;

- ・技術実証の検討

2018年度に引き続き、電力系統安定化に向けた検証(図2)を実施し、実証サイトのリソースを同時に制御する場合の課題などについて検討を実施します。

- ・ビジネスモデルの検討

EV/PHEVのモビリティニーズ<sup>※2</sup>を踏まえたV2Gの実現方法について検討するとともに、EV/PHEVおよびEVPS導入者から見たV2Gの活用メリットについて検討を実施する予定です。

※1 EVパワーステーションの略。充放電スタンドのこと。

※2 自動車としての本来の用途。

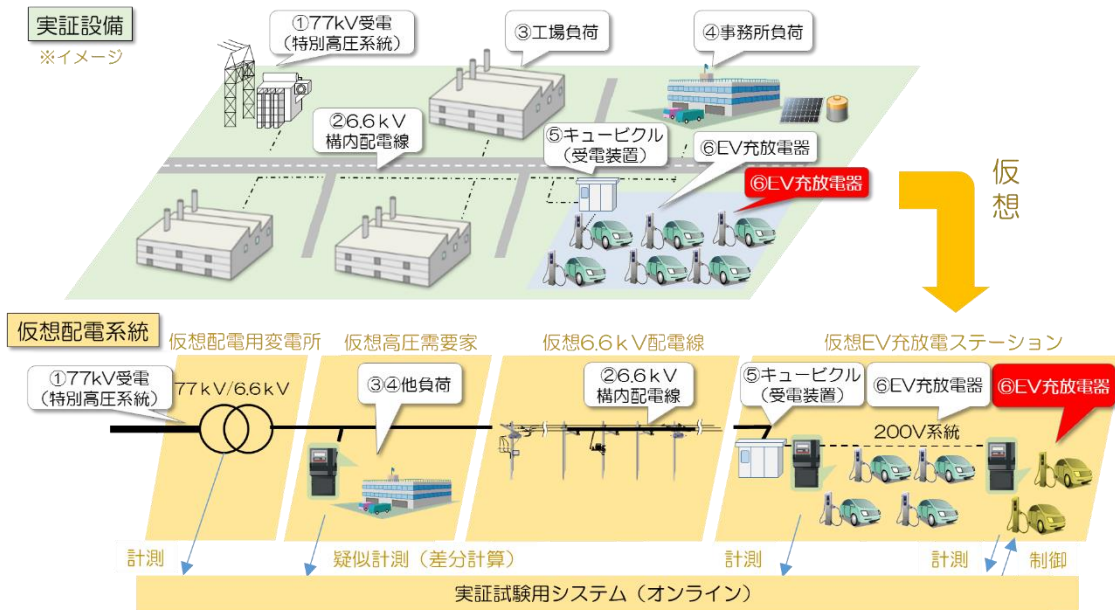


図1 実証サイトの一例

配電混雑緩和/電圧上昇回避

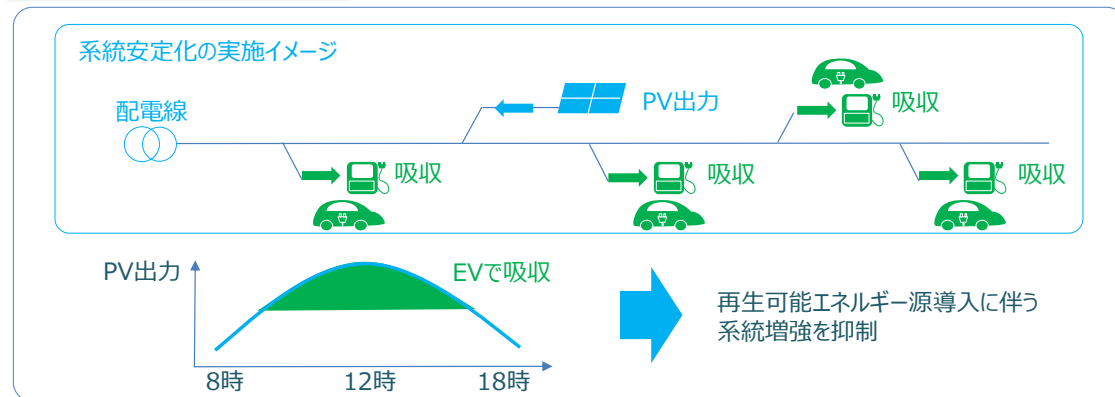


図2 技術検証項目の一例

以上